

読めない図書館

まるやま まさたか

丸山 晶崇 館長

circle-d(デザイン事務所)／circle [gallery & books] 代表

●館長プロフィール●

デザイナーとしての活動と並行して、ギャラリー兼書店を運営。
デザインとその周辺にあるモノ・コトを、様々な形で展開しようと奮闘中。

●ひとハコ図書館のコンセプト●

『積読(ツンドク)のススメ』
黙読、音読、朗読、速読など、本にはいろいろな読み方があります。本は知の集積。
いまずぐに役に立つような知識も、自分にはおよそ役に立たない無駄な知識も、もっともっと取り入れたい。
より多くの本を読みたいのだけれど、限られた時間のなかで全ての本を読むことはできません。
本との出会いは一期一会。
「買ったのに・借りたのに読まなかった」のではなく、まだ読んでいないだけなのです。
いまは読まない本も、いつか時が来たら熟成させたお肉のように、おいしくいただけるのです。
そんなコンセプトを掲げ、部屋の片隅に積んでおくべき一冊を選びました。もちろん、僕はまだ読んでいません。

Q1 あなたにとってはじめての図書館は？

文京区にある小石川図書館。公園の中にあり、外にはテニスコートなどもあるレトロな雰囲気の図書館。
レコードが豊富。図書館とはどこもこういうところなんだと勝手に思っていたら、結構違ったことを後に知った。

Q2 図書館にあったらいいな・できたらいいなと思うことは？

アーカイブという意味では、そろそろ個人出版物やZINE、リトルプレスなどISBNで管理されていない
書籍だけを扱った図書館があっても面白い気がします。

Q3 このひとハコ図書館がある所はどこですか？

酒場で一人本を読んでしまいます。そんなときに置いてあったらどれも読みたい一冊なので、酒場やカフェ
など、ふとしたところにあったらいいな。